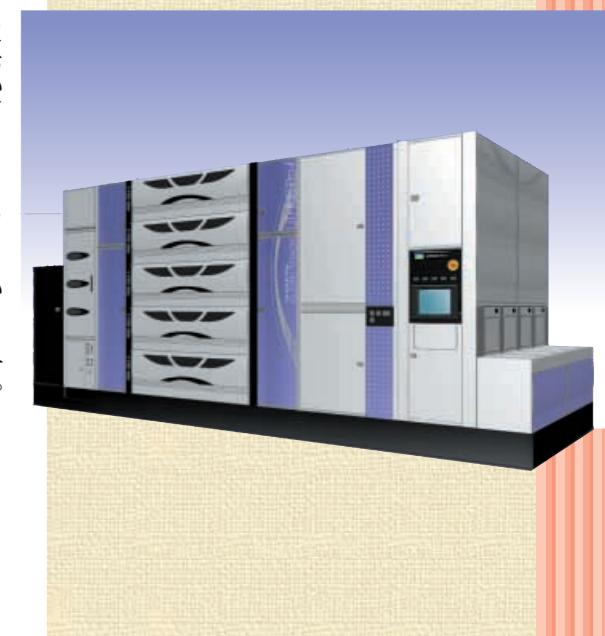


ヒット商品は、こうして生まれた!

ヒット商品を支えた知的財産権 VOL.51

半導体の高生産性を実現する
「CLEAN TRACK® LITHIUS Pro®-i」

商標登録 CLEAN TRACK:第2718814号
LITHIUS Pro:第5143203号



年以降が検索対象です)を明細書の全文で検索してみますと、「サッカー」…9495件、「野球」…11433件、「幸福」…816件、「不幸」…5733件、「火星」…307件、「金星」…220件となります(平成20年7月31日現在)。それでは、「プリン」と「ヨーグルト」ではどうでしょうか。「プリン」…1355929件、「ヨーグルト」…7983件と、「プリン」が圧勝です。「プリン」がなぜこんなに多いのでしょうか。その理由は、「プリント」「スプリング」「カップリング」などが大量にヒットしているからです。文字の並びを検索しているだけなので、このようなことが起こります。(弁理士 鈴木利之)

半導体は、コンピュータや携帯電話といった情報通信機器をはじめ、家電など身近な製品の多くに使用されています。現代社会は、半導体およびその製造技術におけるたゆまざる研究開発の恩恵を受けています。

半導体製造は、直径200mmのシリコンウェーハに対して生産コストを約30%削減できる300mmウエーハへの移行が進んでいます。高性能化を図る構成回路の微細化も加速しており、2006年に65nmプロセスの量産が本格化し、07年には45nmプロセスに移行しました。このため、写真と同様の技術でウェーハに回路を投影して焼きつけ、IC回路を形成する光学リソグラフィグラフィに向っています。

2007年に市場に投入された東京エレクトロン株式会社の CLEAN TRACK® LITHIUS Pro®-i および CLEAN TRACK® LITHIUS Pro®-i

は、フォトリソグラフィープロセスにおいて感光剤の塗布と現像を行う装置で、32nmノード以細までをターゲットとした次世代300mmウエーハプロセスに対応する機能を備えています。また、この装置は、斬新なプロセスとモジュールを適用することで最先端の液浸リソグラフィプロセスにも対応可能です。

開発に当たっては、同社のレジスト塗布現像装置で培った高い技術力をもとに、飛躍的な高生産性と高信頼性の実現を目指しました。装置面積の縮小化を図りつつ、処理能力を高めるという矛盾した課題を克服するのが困難でしたが、まず設置面積を従来比25%削減することに成功し、次いで、ウェーハを搬送するシステム開発によってスループットを30%高め、180枚/時間の高い生産性を実現しました。露光機を含めた装置性能の向上に加え、薬液コストの大削減などによって運用コストを低減した点でも革新的であるといえます。

技術専門商社として1963年に創業した同社は、その後、半導体製造装置の開発・製造に軸足を移しました。その当初、競合企業の多くは米国企業でした。競合企業が保有する米国特許を徹底的に分析し、開発設計部門にファイードバックしてきた結果、半導体製造装置およびフラットパネルディスプレイ製造装置のトップメーカーに成長し、2007年の半導体製造装置メーカーの売上高ランキングでは、日本1位、世界2位の実績を誇っています。

日本および米国で積極的に特許出願してきたほか、近年では韓国、中国などで競合会社が急増しており、米国以外での知的財産権の取得も進めています。海外での知財権取得に注力し、知財戦略、技術戦略、製品戦略の三位一体の経営を実践する同社は、2008年度の特許戦略優良企業として経済産業大臣より表彰されました。

シリーズ25 弁理士風土記(鳥取)

森山国際特許事務所
弁理士 森山 陽



7年前に、財團法人鳥取県産業振興機構の特許マネージャーとして兵庫県から鳥取県に移り住み、その後、米子市で開業されていた大塚特許事務所を引き継いで現在に至っています。

『干物といえば沼津』といわれますが、沼津地域は、湿度が低く、適度な風が吹き、南に日本一の水深をもつ駿河湾、北に富士とその伏流水である柿田川の湧水というように、干物の生産にはまさに最適な環境にあります。沼津における干物の生産量は、交通や保冷技術の発展により大消費地との時間的距離が縮まることで飛躍的に増加し、全国一を数十年来維持しています。

「沼津ひもの」は、加工技術の機械化される現代においても、より良い原料魚の確保と製造技術の研磨により、一枚一枚手作りと独自の味付けを守って生産されています。沼津魚仲買商協同組合及び静浦ひもの協同組合は、2007年に地域団体商標として「沼津ひもの」の登録を受け、更なる製法の研鑽と消費者に顔の見える干物作りに邁進しています。



このコーナーに掲載御希望の方は、「特產品」のプロファイル・連絡先をFAX:03-3519-2706までお送りください。



鳥取砂丘／砂で作った万里の長城

実りの季節



暑さの和らぐ過ごし
やさしい秋は、実りの季節である。冬眠を控えたクマの食欲が旺盛になつたり、リスが木の実を蓄えたりすることはよく知られている。

しかし、現代の日本人にとっては、食べ過ぎに注意すべき季節かもしれない。

厚生労働省は平成20年度から、医療保険者(勤務先)に対し、40歳以上の被保険者・被扶養者のメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診・保健指導である「メタボ検診」の実施を義務化した。メタボリックシンドロームは、内臓脂肪型肥満に加え、高血圧、高血糖、脂質異常のいずれか2つ以上を併せ持った状態を診断基準とし、日本人の死因の上位を占める生活習慣病の発症リスクを高めると考えられている。

先日訪ねた高血圧症を専門に研究している医師は、なんらかのストレス状況下で急に血圧が上がる仮面高血圧に注目。高血圧の治療と追跡調査、また就寝中でも血圧を測定できる血圧計の開発も行っていた。

美味しいものを沢山食べたいのは山々だが、腹八分目で自分自身に優しい選択を。何事も程々に。

(鈴木)